

2001年11月9日  
(株)博報堂 エルダービジネス推進室

### HOPEレポート 「エルダー層のお金に対する意識調査」

「金時(きんとき)持ち」である50歳以上のエルダーたち。その生活の中味が初めて見えてきました。生きがいを感じ、もっとお金をかけていきたいものとして挙げられたのは、「国内旅行」「健康作り」「芸術鑑賞」「配偶者との交流」。今後消費が大きく伸びるテーマと判明。

これからは、「夫婦消費」がエルダーのキーワードになることがわかりました。

(HOPEレポート:高齡化が急速に進展するなか、50歳以上のエルダー世代は、いま変化しつつあり、注目されています。このエルダー世代に関する生活意識や現状を調べていくレポートです。)

今回は、お金も時間もある「金時(きんとき)持ち」であるエルダー層に対し、「お金に対する意識調査」を実施しました。エルダーの「お金と生活」に関する発見、さらに、「お金意識クラスター」を抽出し、11パターンに分析した結果をご紹介します。これまでの「枯れて行く」老後観とは違った、元気で意欲的な「ニューエルダー(高活性化層 p8参照)」の姿がはっきりと見えてきました。

#### 「金時持ち」ピークは、65歳から74歳までのエルダー本格前期。(p3参照)

- ・「自由に使える時間」は加齢とともに増えていくが、「自由に動かせるお金」は75歳以降大きく減少し、お金と時間のバランスが崩れていく。特に、女性の落ち込みが激しい。

#### 今後消費が伸びそうなものは、「国内旅行」「健康作り」「芸術鑑賞」「配偶者との交流」。(p3参照)

- ・「国内旅行」「健康作り」は現在もお金をかけていて、まだまだ伸びる可能性が高い。交際・交流は、生きがいとしては「友人」「孫」「子供」だが、今後の消費拡大の相手は「配偶者」。趣味の中では「芸術鑑賞」が生きがいがあり、伸びが期待できる。

#### エルダー世代に必要な二大資本は、「経済的ゆとり」と「健康な体」。(p4参照)

- ・今後お金をかけたいこと(消費)の実現に必要なものとしては、当然ながら「経済的ゆとり」が1位。2位に「健康な体」がきており、「健康あってこそ」のエルダー世代の意識が垣間見えます。
- ・夢の実現に必要なものとしては、やはり「健康な体」が1位に挙げられており、その次に「経済的ゆとり」があげられました。歳をとればとるほど「健康な体」の必要度が増し、逆に「経済的ゆとり」は加齢で減少。

#### 妻は自分のために、夫は二人のために。夫婦間で「お金意識」に溝。(p5参照)

- ・「自分一人の今と将来」に使う女性、「自分と配偶者二人の将来」に使う男性が多い。「社会のためにお金を使う」、「子供や孫のためにとっておく」人は少数派。

#### 子供に期待せず、自立するエルダー。「子孫に美田は残さず」の傾向。(p5参照)

- ・50歳から74歳までの夫婦は、「子供・孫」とお金で自立していて、「遺産を残す」意識は75歳以上の人だけがやや高い。子供からの経済援助を期待しない人が9割以上もいて、「子供・孫」とはお金でつながらない関係を望んでいる。

#### お金と生活面から見ると、ニューエルダーは「健康投資志向族」「キリギリス族」が多い。(p6参照)

- ・お金意識だけでなく、生活実態・意識・金融機関/商品との付き合いを総合的に分析し、その特性から11のクラスターにエルダー世代を分類することができた。
- ・一番多いのは、やりたいことはあるが、お金のゆとりがない「不安に備えるアリ家族」で18.4%。次に、自分では運用しない「妻にお任せ無関心族」が17.1%と続く。
- ・元気で意欲的な「ニューエルダー」は、主に健康作りにお金を使っている「健康投資志向族」、やりたいことにお金を十分使っている「今を楽しむキリギリス族」に数多く見られ、社会のためにお金を使いたいと考えている「まだまだ現役・社会貢献族」にも数は少ないながら、見られる。

= 高活性化層(p8参照)

## HOPEサーベイの概要

調査時期：2001年7月27日～8月7日

調査対象：全国50～80代男女875サンプル

(平成7年度国勢調査人口構成比に準拠してサンプル配分)

調査実施期間：(株)インテージ(旧 社会調査研究所)

### エルダールの規定 (博報堂エルダールビジネス推進室による)

50歳以上の高齢者を「エルダール」と規定

導入期 50～64歳

本格期(高齢者) 65歳以上

前期高齢者 65～74歳

後期高齢者 75歳以上

\* このレポートは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。  
(11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる下限です)

### これまで発行したHOPEレポート

1. HOPEレポート ニューエルダールの登場(5月・既報)
  - ・ニューエルダールの登場 エルダール世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPEレポート 情報縁：つながる場(7月・既報)
  - ・ユニバーサルデザイン
3. HOPEレポート 情報縁：つながる関係(8月・既報)
  - ・エルダールの人間関係
4. HOPEレポート 情報縁：3世代コミュニケーション(9月・既報)
  - ・エルダールの「子供」「孫」とのコミュニケーション実態
5. HOPEレポート 「エルダール層のお金に対する意識調査」(今回)

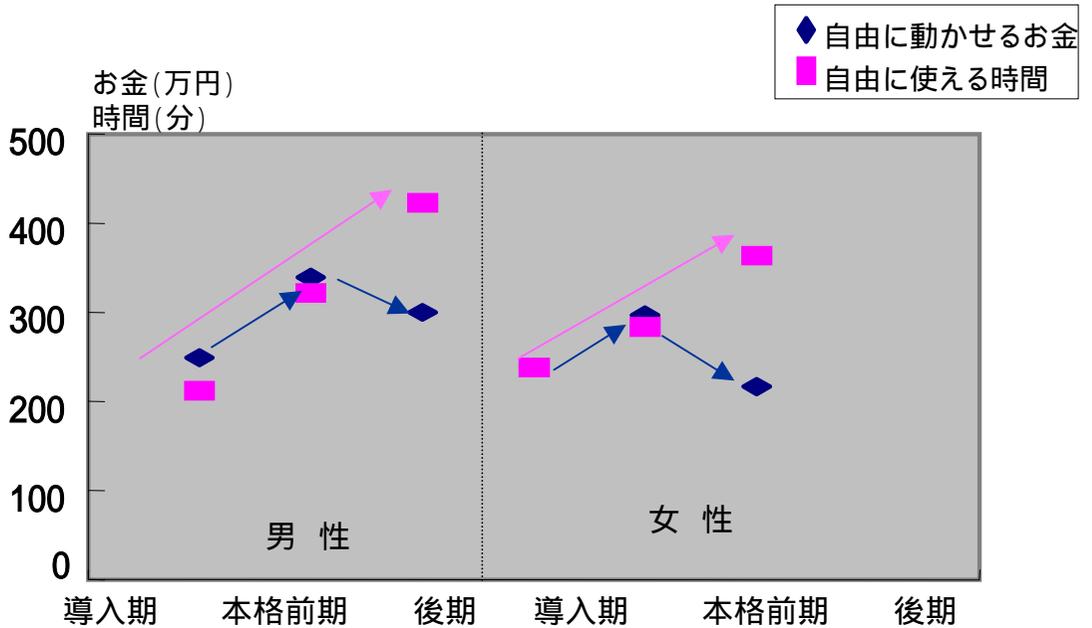
### 博報堂エルダールビジネス推進室のホームページ

<http://www.h-hope.net/>

これまで発行したHOPEレポートが全てご覧いただけます。

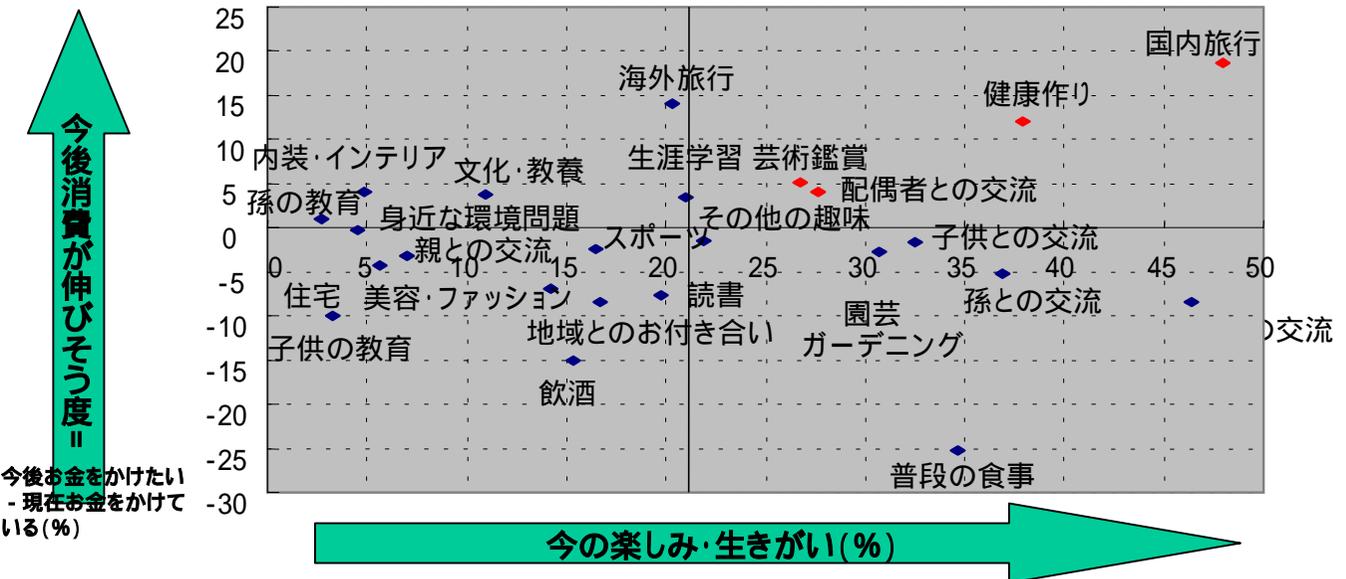
**「金時持ち」ピークは、65歳から74歳までのエルダー本格前期。**

- ・「自由に使える時間」は加齢とともに増えていくが、「自由に動かせるお金」は75歳以降大きく減少し、お金と時間のバランスが崩れていく。特に、女性の落ち込みが激しい。



**今後消費が伸びそうなものは、「国内旅行」「健康作り」「芸術鑑賞」「配偶者との交流」。**

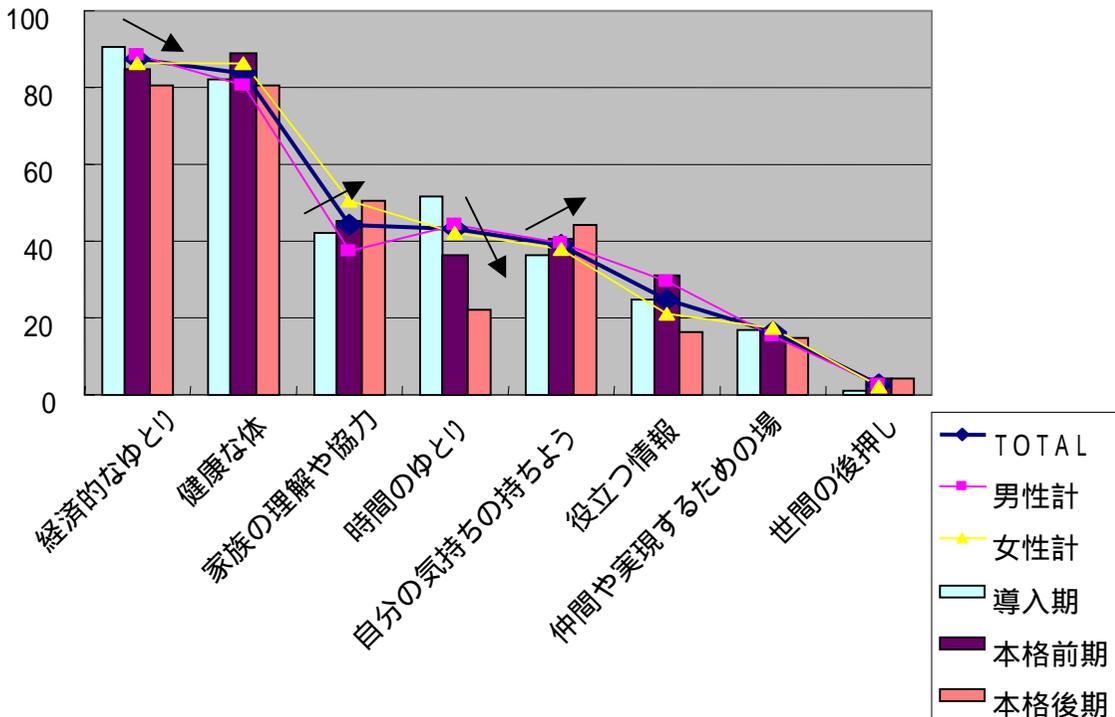
- ・「国内旅行」「健康作り」は現在もお金をかけていて、まだまだ伸びる可能性が高い。
- ・交際・交流は、生きがいとしては「友人」「孫」「子供」だが、今後の消費拡大の相手は「配偶者」。
- ・趣味の中では「芸術鑑賞」が生きがいがあり、伸びが期待できる。



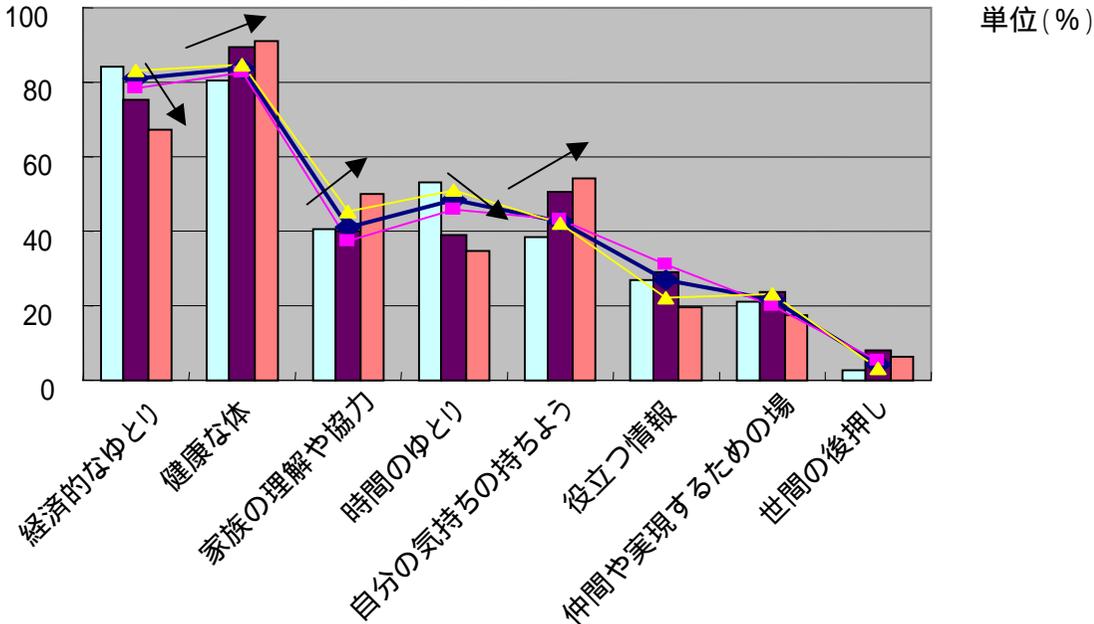
## 必要な二大資本は、「経済的ゆとり」と「健康な体」。

- ・ 今後お金をかけたいこと(消費)の実現に必要なものは、当然ながら「経済的ゆとり」が1位。2位に「健康な体」がきており、「健康あってこそ」のエルダー世代の意識が垣間見えます。
- ・ 夢の実現に必要なものとしては、やはり「健康な体」が1位に挙げられており、その次に「経済的ゆとり」があげられました。歳をとればとるほど、「健康な体」の必要度が増し、逆に「経済的ゆとり」は加齢で減少していきます。

今後お金をかけたいこと(消費)の実現に必要なもの



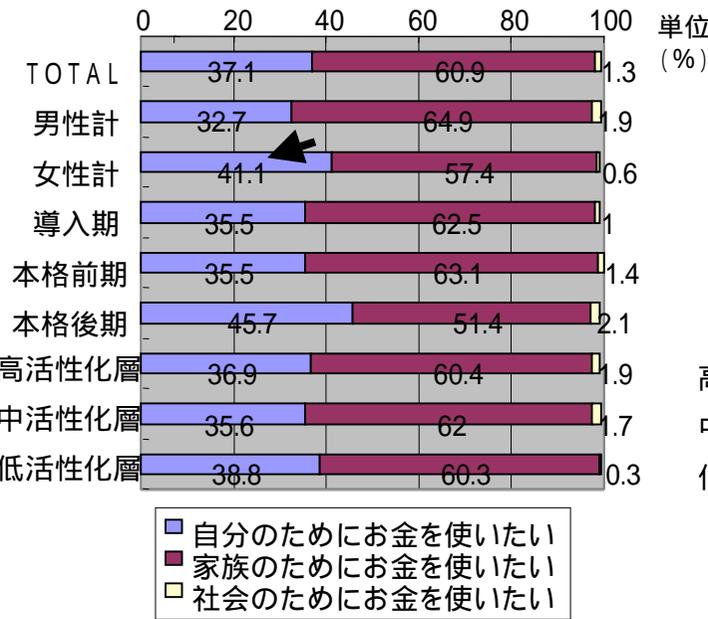
これから実現したい夢の実現に必要なもの



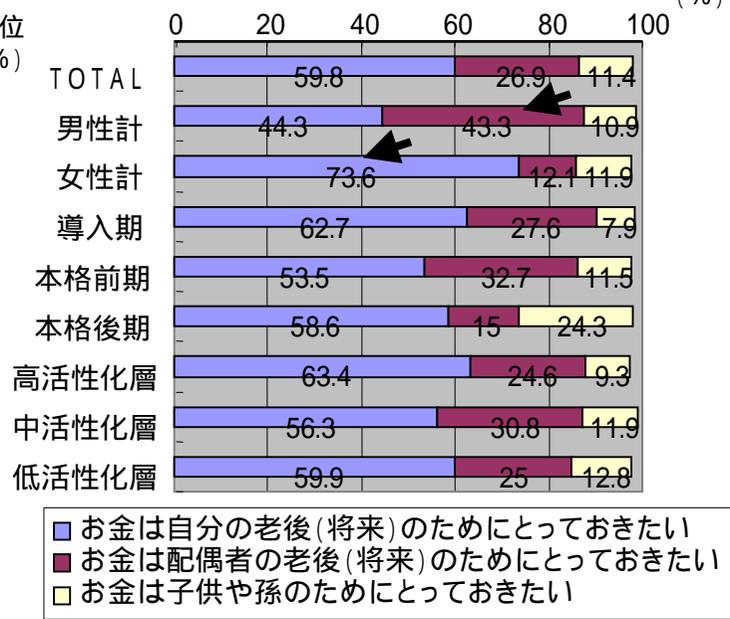
## 妻は自分のために、夫は二人のために。夫婦間で「お金意識」に溝。

- ・「自分一人の今と将来」に使う女性、「自分と配偶者二人の将来」に使う男性が多い。  
「子供や孫のためにとっておく」人は少数派。

誰のためにお金を使いたい



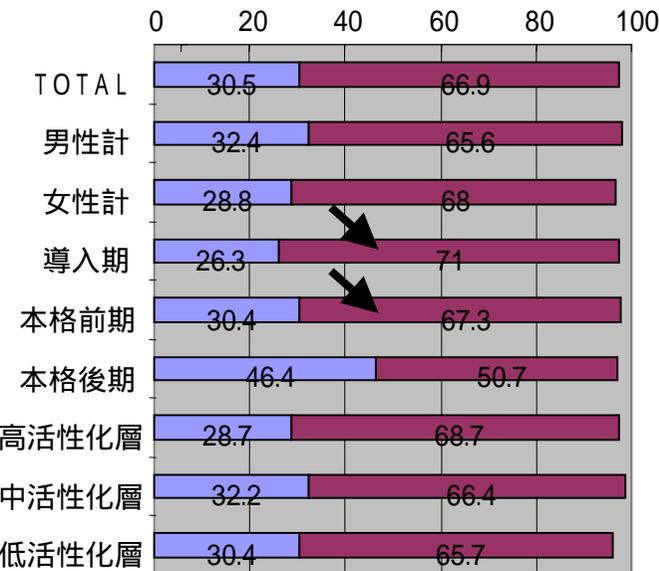
誰のためにお金をとっておきたい



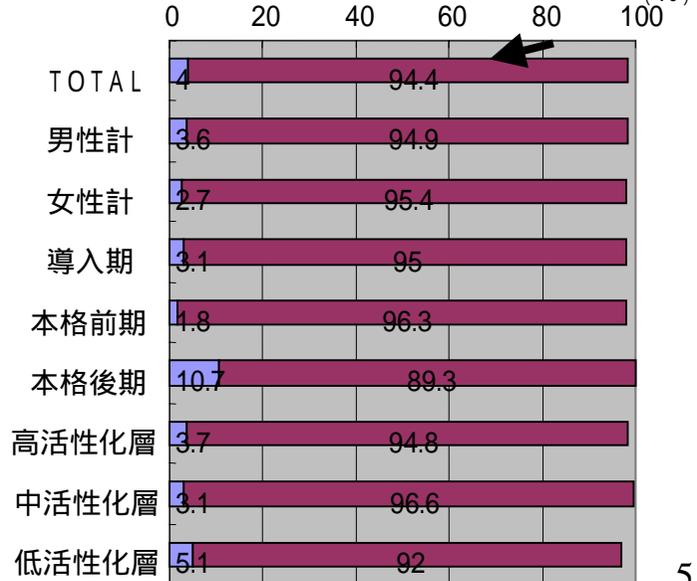
## 子供に期待せず、自立するエルダー。「子孫に美田は残さず」の傾向。

- ・50歳から74歳までの夫婦は、「子供・孫」とお金で自立していて、「遺産を残す」意識は75歳以上の人だけがやや高い。子供からの経済援助を期待しない人が9割以上もいて、「子供・孫」とはお金でつながらない関係を望んでいる。

遺産意識



経済援助意識

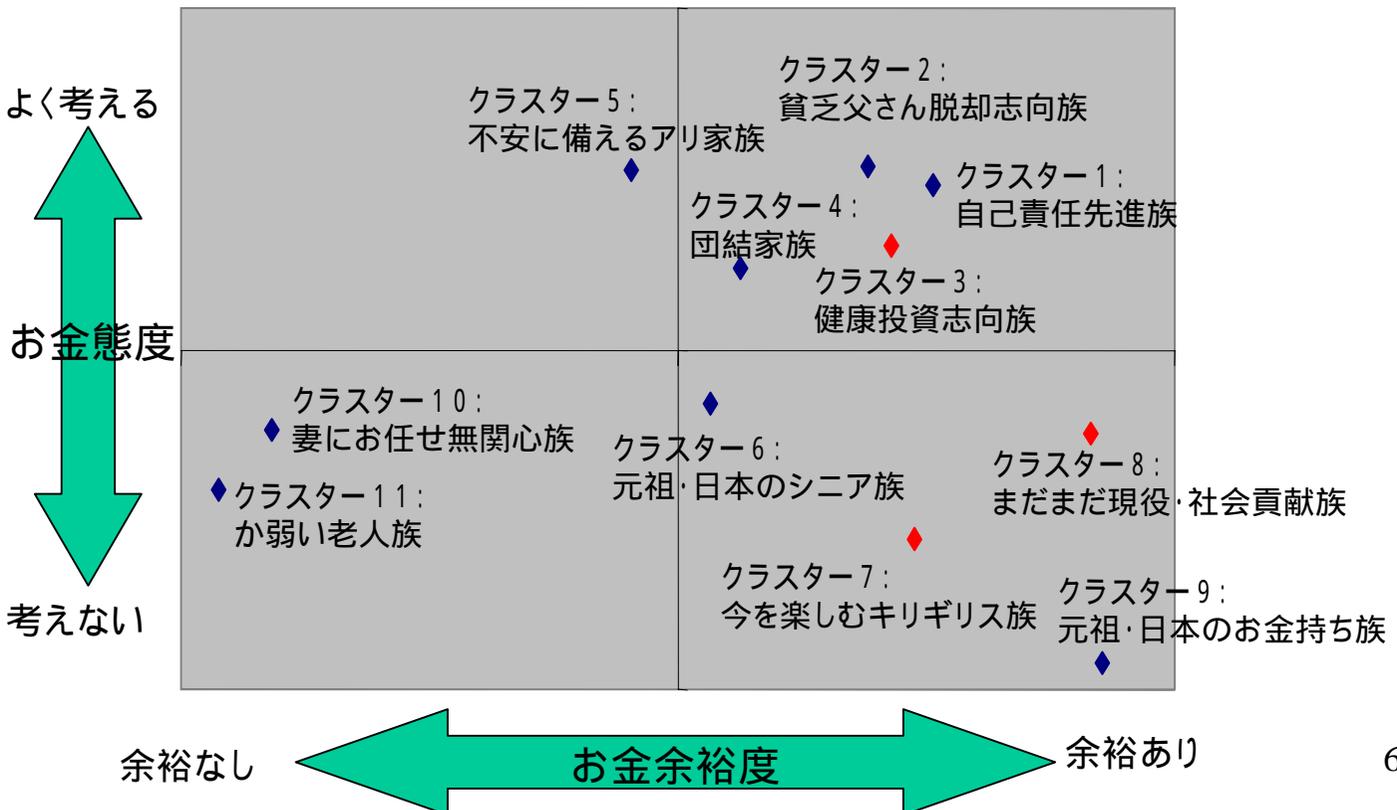


## お金意識クラスター分析

- ・ お金意識だけでなく、生活実態・意識・金融機関 / 商品との付き合いを総合的に分析し、その特性から11のクラスターにエルダー世代を分類することができた。
- ・ 一番多いのは、やりたいことはあるが、お金のゆとりがない「不安に備えるアリ家族」で18.4%。次に、自分では運用しない「妻にお任せ無関心族」が17.1%と続く。
- ・ 元気で意欲的な「ニューエルダー」は、主に健康作りにお金を使っている「健康投資志向族」、やりたいことにお金を十分使っている「今を楽しむキリギリス族」に数多く見られ、社会のためにお金を使いたいと考えている「まだまだ現役・社会貢献族」にも数は少ないながら、見られる。

クラスター 1	自己責任先進族	4.8%
クラスター 2	貧乏父さん脱却志向族	9.0%
クラスター 3	健康投資志向族	6.3%
クラスター 4	団結家族	9.8%
クラスター 5	不安に備えるアリ家族	18.4%
クラスター 6	元祖・日本のシニア族	6.2%
クラスター 7	今を楽しむキリギリス族	15.5%
クラスター 8	まだまだ現役・社会貢献族	1.3%
クラスター 9	元祖・日本の金持ち族	4.4%
クラスター10	妻にお任せ無関心族	17.1%
クラスター11	か弱い老人族	7.2%

◆ は ニューエルダー (P8参照) に多く見られるクラスター。次ページをご覧ください。



## < 代表例 >

### クラスター3: 健康投資志向族



#### 金時持ち度

自由に使えるお金374万円

自由に使える時間244分

#### 消費

現在かかるお金: **健康作り**・趣味・旅行やや高め

今後かけたい: **健康作り**

生きがい: **健康作り**・普段の料理・子供・孫・友人との交流

#### お金意識

**金融機関のアドバイスで運用100%**

**資産運用に関心81.6%**

やりたいことはあるがお金のゆとりがない165.3%

普段お金を考えない161.2%

### クラスター5: 不安に備えるアリ家族



#### 金時持ち度

自由に使えるお金207万円

自由に使える時間237分

#### 消費

現在かかるお金: **病院**・老後の生活設計・普段の食事

今後かけたい: 老後の生活設計・国内旅行

生きがい: 国内旅行・子供・友人との交際

**健康・経済面ともにやや不安**

#### お金意識

**安全性 96.5%**

やりたいことはあるがお金のゆとりがない195.8%

**自己判断で運用 83.9%**

### クラスター7: 今を楽しむキリギリス族



#### 金時持ち度

自由に使えるお金337万円

自由に使える時間330分

#### 消費

現在かかるお金: 国内・海外旅行・友人との交際

今後かけたい: 旅行・孫との交流やや高め

生きがい: 普段の料理・外食

実現の可能性が高い**今の充実最重視**

#### お金意識

やりたいことに十分使っている95%

普段お金を考えない189.2%

**自己判断で運用83.3%**

**安全性83.3%**

## ニューエルダーとは

下記の活性化尺度により、5個以上にあてはまると答えた高活性化層を「ニューエルダー」と規定しました。心身ともに元気で意欲的なこの層はエルダー全体で30.6%にのぼりました。博報堂では「ニューエルダー」への効果的なアプローチが今後のエルダー層の消費活性化の鍵となると考えています。

### \* 活性化尺度・8項目 \*

#### 【身体】

- ・よく眠れる
- ・身体が健康である

#### 【心】

- ・喜びをもって毎日を送っている
- ・今を生きているという実感がある

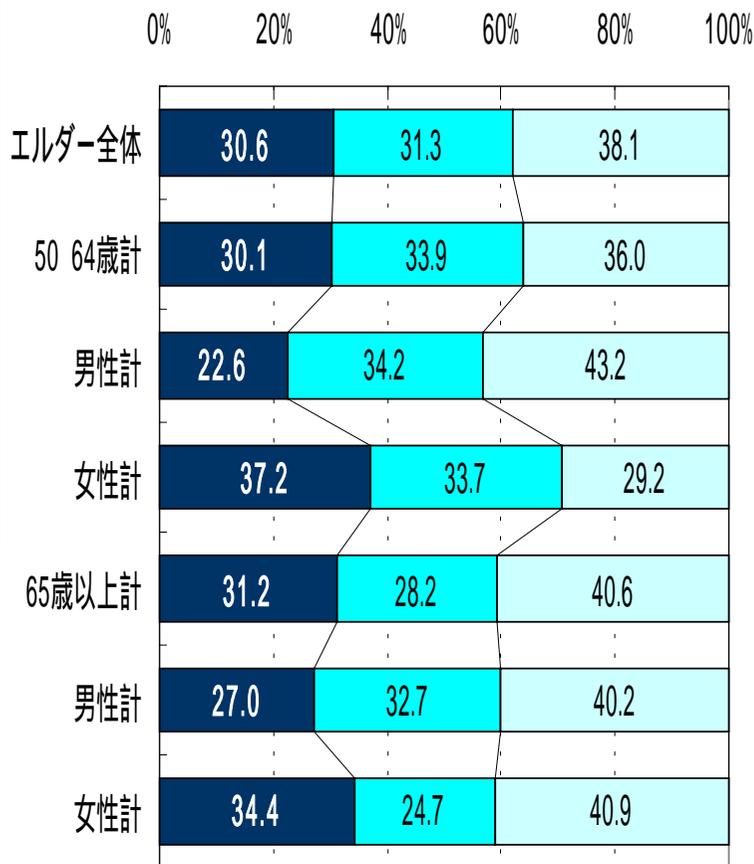
#### 【情報】

- ・好きな趣味や勉強をしている
- ・社会や時代の動きに関心がある

#### 【縁】

- ・友達や話相手に不自由しない
- ・自分が必要とされ愛されていると感じる

■ 高活性(5個以上) = ニューエルダー  
 ■ 中活性(3-4個)  
 □ 低活性(0-2個)



## 博報堂エルダービジネス推進室とは

昨年6月に設立。日本が急速に超高齢社会に向かうなか、情報コミュニケーション・マーケティングに関する開発・支援などのエルダー対応を推進中。

エルダーズライフ / 介護 / ユニバーサルデザインの3領域が対象です。

## ニューエルダーに迫るキーワード、「情報縁」について

これまでの「枯れていく」老後観とは異なった、元気で意欲的な「ニューエルダー」。  
より広い人々との「関係」を重視し、社会問題も含めた広い関心事を持ち、新しいメディアを積極的に活用しようとしている「ニューエルダー」へはどのようなアプローチが有効でしょうか？

そのために、考えておきたいキーワードがあります。それは「**情報縁**」。  
すなわち、「マスメディアあるいは携帯電話・パソコンなど新しいメディアを活用」し、「健康・環境・趣味」など「関心事についての情報をメディアから入手・交換」しつつ、「仲間づくり」をするという、彼らの新しい縁づくり＝「**情報縁**」づくりを応援するという考え方です。

さらに、その縁づくりの場は、エルダー世代にとって接しやすく使いやすい場であることが、大切です。例えば「商品説明ツールも広告表現もユニバーサルデザインでわかりやすく」といった気づかいをしていくことが、小さいけれど、重要になります。  
縁づくりのメディアの1つとなる「IT」機器もユニバーサルデザイン対応が求められます。彼らのコミュニケーションの場としての「インターネットサイト」の積極的活用とユニバーサルデザイン対応も視点の1つでしょう。

「情報縁」でニューエルダーの人たちをつなぎ、彼らの生活をより楽しく、活性化させるという視点に、企業からのアプローチのヒントがあると私たちは考えます。

